

凡事徹底

桜の季節が終わって、あっという間に新芽が目立つ季節になりました。1年生校庭のけやきも少しずつ緑が目立つようになりました。

4月も3週目に入り、月曜日は児童活動のオリエンテーションが行われ、子どもたちの学校生活もいよいよ本格的に始動しました。今、多くの学級では「学級名」を決める話し合いが行われています。学級名には（どんな学級にしたいのか）子どもたちと先生方の願いが込められています。今年もどんな名前が登場するのかとても楽しみです。

さて、下の写真は印刷室です。丹野さんが先生方が使いやすいようにサイズごとにきちんと紙を整えてくださっています。包装紙もまとめて置かれています。とてもありがたいことですね。また隣の写真は裁断機。附属小ではそもそもこの部屋に子どもたちが入ることにはないのですが、間違っ



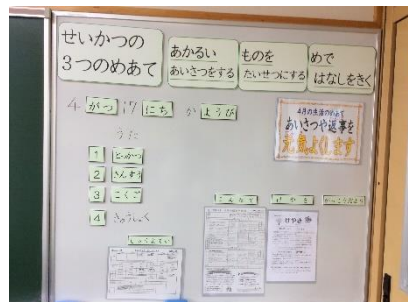
間違っ指を挟んだりすると大怪我につながります。部屋をきちんとしておいたり、裁断機のカバーをしっかりといつも下ろしておいたりすることは事故防止につながるとともに効率的な仕事にも繋がります。

附属の先生方は、それでなくとも忙しいのですが、印刷室は私たちにとってなくてはならない共用の場所です。

いつも気持ちよく使うことができるようお互いに心掛けたいものです。

今週に入ってから1年生も給食が始まりました。以前は6年生が給食の手伝いに来ていたのですが、現在は1年生だけで準備をしています。入学して1週間足らずでここまでできるので、驚きです。

下の写真は1年3組の様子です。ロッカーの中のかごの置き方と体育袋の整理、またきちんと揃えられている靴箱の上靴の置き方に驚きました。また、教室前面には「生活の3つのめあて」や曜日、時間割が掲げられ、1年生もいよいよ附属小の生活が始まったことが伝わってきます。



何事も凡事徹底。3年生の廊下の黒板にも書いてあったように「あたりまえのことをあたりまえにやる」ことが今の時期とっても大切なことです。そして、このようにものを揃えたり、自分の荷物を整理したりすること（形を整えること）が集団生活を行う上では欠かせないことであり、『体も心もたくましく、しかも、しなやかな子供』を全職員で育てる上での「潜在的なカリキュラム」であることを胸に刻んでいきたいものです。

（文責：副校長 手代木）